

## ■外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## ■外国語科の特質に応じた見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

## ■高知県が目指す授業づくりのコンセプト

### ○外国語科における「学びを変える」授業づくりとは

英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を通して資質・能力が育成されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通して学習過程を工夫することです。そのためには、具体的な課題を設定し、生徒が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用させ、資質・能力を育成していくことが重要です。

### ○外国語科における「学びをつなげる」授業づくりとは

領域別目標と関連付けられた学年ごとの学習到達目標を設定し、発達段階に応じて資質・能力を系統的に捉え、言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することです。そのためには、小・中・高それぞれの段階でどのような言語材料を扱い、言語活動をしているのかを理解し、「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から段階的に指導を行い、「見方・考え方」をさらに確かめ豊かなものにしていくことが大切です。

### ○外国語科における「学びを高める」授業づくりとは

単元終末段階の生徒に望む具体的な姿のイメージをもち、単元を見通した課題を設定した言語活動において、「見方・考え方」を習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせるよう工夫することです。そのためには、外国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を捉え、それを整理したり吟味したりしながら思考を深めることで、自らの考えを形成したり深化させたり、さらに表現を選択したりして「論理的に表現」することを重視します。

## ■外国語科の特質に応じて、効果的な学習展開ができるように配慮すべき内容

### ○言語活動の充実

目的・場面・状況を明確にし、自分の伝えたいことを伝えるためには、どの表現を使ったらいいかという問いを常にもち、思考しながら言語活動を行うことが大切です。「もっと分かりやすく伝えるためには、どのような情報を付け加えたり省いたりして伝えればよいか」と思考し、表現するために必要な言語材料を取捨選択して活用できるようにすることが重要です。

### ○コミュニケーションを支える言語材料の取扱い

言語材料については、単に繰り返し活動を行うのではなく、生徒が言語活動の目的や言語の使用場面を意識して行うことができるように留意する必要があります。文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、コミュニケーションの目的を達成する上での必要性や有用性を実感させた上で、その知識を活用させることが重要です。

### ○他教科等との関連

言語活動で扱う題材は、生徒の興味・関心に合ったものとし、国語科や理科、音楽科など、他の教科等で生徒が学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすることで、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

### 三つの柱の資質・能力

#### 学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

#### 知識及び技能

工 文、文構造及び文法事項  
(ウ) e 過去形について理解すること。  
このような言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。

#### 思考力、判断力、表現力等

イ 日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

#### 「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

#### 「単元の目標」

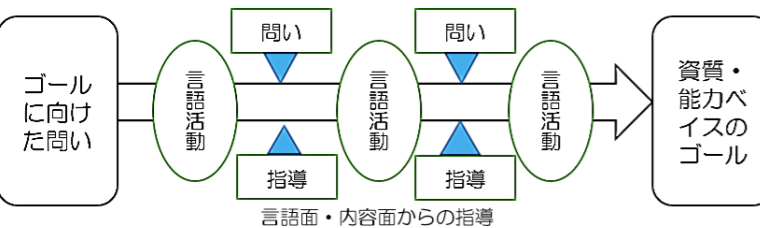
学校の良さをホームページで知ってもらうために、学校行事や部活動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

#### 《既習事項との関連》

◇第1学年：簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。

#### 《他教科等との関連》

【国語】第1学年  
行事の案内や報告の文章を書くなどを通して、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する学習活動。



#### 主な資質・能力の系統

「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標

#### 小学校 第5学年

自分のことや身近で簡単な事柄について、語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

#### 小学校 第6学年

自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、その中の一文あるいは一部の語を自分が表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。

#### 本単元

#### 中学校 第2学年

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

#### 中学校 第3学年

日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて文章構成の特徴を意識しながら、まとまりのある文章を書くことができる。

#### 高等学校 第1学年

日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

## 資質・能力を身に付けるための言語活動例

【単元ゴールとなる言語活動：HPで学校のよさを伝えるために、事実や自分の考えを整理し、簡単な語や文を用いてまとまりのある紹介文を書く】

【目的】学校のよさをHPで知ってもらうために【場面】学校行事や部活動等についてまとまりのある文を書いて【状況】多くの人に紹介する

●部活動や先生について、簡単な語句や文を用いて、紹介文を書く活動。

●本単元の言語材料と既習表現を使って、自分の考えをどう表現するか考え、正確に文章を書く力。

①～④ 言語習得のプロセス ①② 見方・考え方を働かせる子供の姿 ③④ 見方・考え方を鍛える教師の手立て

●単元ゴールの内容(目的・場面・状況)やパフォーマンステストについて知り、学習の見通しを持つ。① ④

Look at this. I found this picture on the website of a junior high school in America. When I was a junior high school student, I played soccer in fall, and basketball in winter. In this way, we can get many information on the website. Your school has many interesting events. What do you want to introduce about your school life?

S1: たくさんの人に学校のよさを知ってもらいたいな。何を伝えればいいかな。

●友達と部活動や学校の先生について伝え合う。②

S1: I am like soccer. I'm in the soccer club. It's fun.  
S2: I like English very much. Mr. Yamada is an English teacher. He speak English very well. He can plays golf well.

●話したことをノートに書く。③

T: ホームページに文を載せるんですね。この文章を見て気付くことはありませんか。(中間指導)

Mr. Hayashi is a Math teacher. He can plays the piano very well. He is lives in Kochi. He is kind.

S1: 誰かに読んでもらうためには正しい文章を書かないと伝わらないな。動詞は is・live の両方は使えないんじゃないかな。

●気付いた誤りのポイントをまとめてチェックリストを作成し、自分の書いた文を修正する。④

#### 言語習得のプロセス

①子供がコミュニケーションの目的・場面・状況を把握する。

●学校のよさを伝えるために、事実や自分の考えを整理しながら紹介文を書く活動。

●目的に応じて、自分の考えをどう表現するか考え、正確に文章を書く力。

●学校行事について友達とやり取りする。  
●ある学校のHPの紹介文を読む。①

Video Contest 学校の写真

This is our school. We had the video contest in December. This is our popular event of the year. In this year, we enjoyed dancing, singing a song and performing a comedy show. It was a lot of fun!! The contest was great. Please come to our school!

T: 学校のよさを伝えるためにどのような工夫がありましたか。(中間指導) ②③  
S1: 行事の詳しい説明、感想やエピソードを入れると読んでくれる人に伝わるんじゃないかな。タイトルもあればいいかな。 ④

板書(抜粋)  
事実を伝える(説明する) This is ~. We have ~.  
意見・感想を言う It was a lot of fun.  
招待する Please come to ~.

●発表メモを作成し、メモを基に友達と伝え合い、伝え合った内容をノートにまとめる。チェックリストを用いて友達の書いた文を修正する。③ ④

Field Trip 学校の写真

We had a field trip in April. Every class went to different places. For example, Katsurahama and Wanpaku-Kochi. We cleaned up the beach. It was very hard.

●学校のよさをHPで伝えるために、事実や自分の考えを整理しながらまとまりのある紹介文を書く活動。

●読み手を意識しながら書く内容を再構築する力。

●前時で書いた内容をもとに発表し、やり取りする。①

S1: (前時に作成したメモを基に発表する)  
ALT: Why did you clean up the beach?  
S1: Our school picks up garbage once a month.  
ALT: Oh, nice!  
Where is the Wanpaku-Kochi?  
S1: It's near Kochi Castle. 学校の写真

T: なぜALTの先生はたくさんS1さんに質問したのかな。(中間指導) ②  
S1: 読む人は高知の人だけでなく、学校を知らない人も読むから、場所など詳しく説明しないといいないな。書いたら友達に読んでもらって、分かりにくい所がないか聞いてみよう。 ③④

●学校のよさを知ってもらうためにホームページに紹介文を書く。③ ④

Welcome to Heiwa J.H.S!  
We had a field trip in April. Every class went to different places. For example, Katsurahama and Wanpaku-Kochi. Our class went to the Katsurahama. Do you know Katsurahama? We cleaned up the beach. We pick up garbage once a month around the school. It was very hard, but I was happy after cleaning. Our school is near Kochi city. Please come to our school. ごみ拾いの様子と学校を映した写真

②目的に応じたコミュニケーションの見通しを立てる。

③目的達成のためのコミュニケーションを行う。

④言語面・内容面で自らの学習のまとめを行う。

#### 見方・考え方を働かせる子供の姿

①書く目的を意識し、自分の考えや気持ちを表現するために言葉を選んでいる姿。

②読み手を意識し、やり取りした内容を参考に、文章を推敲している姿。

#### 見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

①まとまりのある文章を書くために、モデル文を提示し、どのような語句や表現を用いて書けばよいかを気付かせる。

②学校のよさが読み手により伝わるように、「何を書くとよいか」、「それを英語でどのように表現するか」を気付かせる。

三つの柱の資質・能力

学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

知識及び技能

工 文、文構造及び文法事項 (ウ) f 形容詞や副詞を用いた比較表現を理解すること。このような言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。

思考力、判断力、表現力等

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

「単元の目標」

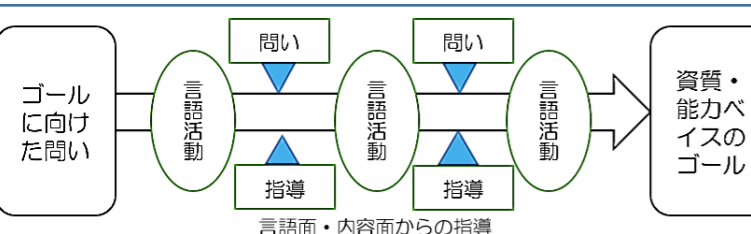
海外でのホームステイの機会を得るために、志願理由について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

《既習事項との関連》

- ◇第1学年：自己紹介する活動。
◇第2学年：将来の夢や職業について発表する活動。

《他教科等との関連》

【国語】第2学年
説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりして、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する学習活動。



主な資質・能力の系統

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

小学校 第5学年
学校生活や地域に関することなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて、できるだけたくさん話すことができる。



【単元ゴールとなる言語活動：海外でのホームステイの機会を得るための志願理由を話す】

【目的】海外でのホームステイの機会を得るために、【場面】オンラインによる面接審査で、【状況】現地の企画関係者に志願理由を話す

●自分の行きたい国のプランについて、そこに行きたい理由を話す活動。

- ・伝える内容を整理し、その目的に合う理由を話す力。
・既習の表現や新しい比較表現を用いて自分の考えを話す力。

●ホームステイ中にしたいことや学びたいことなど、ホームステイの良さについて、理由を含めて自分の考えを話す活動。

- ・与えられたテーマに関して伝える内容を整理し、理由を含めて自分の考えを話す力。
・構成を工夫し、相手に伝わるように話す力。

●その国やそのプランで行きたい理由について、将来の夢などの関わりを含めて自分の考えを話す活動。

- ・相手に伝わる構成や展開を考えながら伝える内容を整理し、まとまりのある内容を話す力。
・相手の表情などで相手の理解度を確認しながら話す力。

①～④ 言語習得のプロセス ④⑤ 見方・考え方を働かせる子供の姿 ④⑤ 見方・考え方を鍛える教師の手立て

●単元ゴールの言語活動について知り、本単元で学習すべき表現や内容についての見通しを持つ。①

S1: 私も行ってみたいな。自分を選んでもらうにはどんなことを伝えたいかな。うまく伝えられるかな。

- ・提示されたプランから自分が行きたいプランについてメモを基に考えを整理し、友達に話す。①②③④⑤
・S1 や他の生徒の発表を聞く。

S1: I want to go to Australia. I want to see koalas and kangaroos. And I'm interested in school life and people in other countries, so plan Aの方が良い。

T: Most of you said the same things, for example, "I want to see koalas and kangaroos". Does it match this plan? (中間指導) ④

T: S1 said, "plan Aの方が良い." How can we say that? (中間指導) ⑤

S2: Plan A is good...gooder than...others? ⑥

S3: 良いか悪いかではなく興味があるということだと思うので、interestingを使うと良いんじゃない? ⑥

T: Any other things or points? (中間指導) ④

S4: S1, why do you want to go to school in Australia? Not in America? ④

- ・新しい比較表現を理解する。
・再度、自分の考えを整理し、友達に話す。②③④⑤

S1: I want to go to Australia because my cousin had homestay there. And I'm very interested in schools and students in other countries. What events do they have? What are they talking about at school? So, plan A is more interesting than others.

S2: いとこのお姉さんが行ったことで、Why do you want to go there, too?

- ・修正を加えて本時に話した英文を書く。④

・前時に書いた英文について、前時のメモを基に友達に話す。③④⑤

・S2の発表を聞く。

T: What are the good points of his speech? ④⑤
Ss: He wants to play basketball with students there. Hachimura Rui and his team are in Washington. Interesting! オリジナル! I'll tell you about ~も使っていた。④⑤

・ホームステイ中に学びたいことやホームステイの良さなどについて自分の考えを整理し友達に話す。①②③④⑤

S1: I'll tell you about my ideas. I want to know about life in other countries. For example, what do they eat? How do they spend time with their family? And I want to know the good places there. And I want to use English after school, too. ホームステイではそれができる。

- ・ペア活動で知った言葉や、うまく言えなかった言葉などについて共有する。(中間指導) ⑥

- ・中間指導を基に再度、友達に話す。②③④⑤

T: At the interview test, you have a lot of things to say to interviewers, right? What will you do? (中間指導) ④

Ss: First, Second, などを使って伝える。④

板書(抜粋)
発表のはじめ I'll tell you about ~ / I want to know ~.
理由の述べ方 First, Second, Third, Lastly,
理由・結論 Homestay is the best way to ~.

- ・再度、自分の考えを整理し、友達に話す。②③④⑤

- ・面接に向け、その地域のことを知っておくと、より熱意が伝わることを確認する。

- ・修正を加えて本時に話した英文を書く。④

- ・志願理由を整理し、友達を面接官として話す。①②③④⑤

- ・S4の発表を聞く。

T: What are the good points of his speech? (中間指導) ④⑤

Ss: He said about his dream in the future. なぜアクティビティーコースなのか、将来とのつながりが伝わった。④
相手の表情を見て、伝わっているか確認しながら話していた。⑥

- ・中間指導を基に再度自分の考えを整理し、ALTを面接官として話す。②③④⑤

ALT: Please tell us why you want to come to our city and do a homestay.

S1: Sure. I have three reasons. First, I want to know about daily life and school life in other countries. For example, ... (略) ... At school, ... (略) ... What are they talking with their friends? Homestay is the best way to know about them.

Second, my cousin visited Australia before. She said she met many kind people. I want to meet many people and make friends, too.

Lastly, I'll tell you about my dream. I want to be a tour guide, so I want to try to use English and know about Australia. In this plan, we can see some old buildings, famous beautiful parks and popular markets near the school. This is the chance to get my dream, so I want to go there. Thank you. (自己紹介・質問等 略)

- ・内容面や言語面などの視点でALTや教師の評価を聞く。(中間指導) ④⑤

- ・修正を加えて本時に話した英文を書く。④

- ・単元を通してできるようになったことや、実際の面接で生かしたいことなどについて振り返りを行う。④

言語習得のプロセス

①子供がコミュニケーションの目的・場面・状況を把握する。

②目的に応じたコミュニケーションの見通しを立てる。

③目的達成のためのコミュニケーションを行う。

④言語面・内容面で自らの学習のまとめを行う。

見方・考え方を働かせる子供の姿

- ④ 相手に自分の考えが伝わるように、その目的に合う内容や構成を考えたり話したりし
⑥ 既得の知識から自分の考えを伝えるための語句や表現を想起したり、相手の表情を見て、より良い表現を考えながら話したりしている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- ④ 生徒の発言を取り上げたり、生徒に発表させたりするなどして、目的・場面・状況に応じた内容や構成になっているか気付かせる。
⑥ 生徒の発言を取り上げたり、生徒に発表させたりするなどして、既得の知識から言語面の修正や導入を行ったり、相手の理解を確認しながら話せているか気付かせたりする。

小学校 第6学年
学校生活や地域に関することなどについて、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

中学校 第1学年
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

中学校 第3学年
日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

高等学校 第1学年
日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。

本単元

### 三つの柱の資質・能力

#### 学びに向かう力、人間性等

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

#### 知識及び技能

工 文、文構造及び文法事項(ウ) i 現在分詞、過去分詞の形容詞としての用法について理解すること。  
このような言語材料と言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。

#### 思考力、判断力、表現力等

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

#### 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。

#### 「単元の目標」

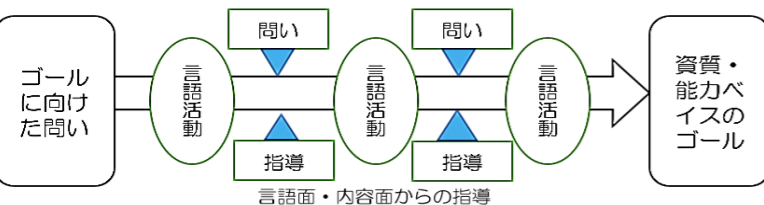
「ロボットとの暮らし」について自分の意見や考えを伝えるために、新聞記事や意見文の要点を捉えたとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝え合ったり、意見文を書いたりすることができる。

#### 《既習事項との関連》

- ◇1年 食品ロスについて書かれた説明を読み、イラストや図表などを参考にしながら要点を把握する活動。
- ◇2年 誰もが住みやすい社会について書かれた意見文を読み、イラストや図表などを参考にしながら要点を把握する活動。

#### 《他教科等との関連》

【国語】第3学年  
論説や報道などの文章を比較するなどして読み、考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の考えをもつ学習活動。



主な資質・能力の系統

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

小学校 第5学年

音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句が書かれた掲示やパンフレットを見て、絵や写真と結び付けながら、その語句の意味を推測することができる。

小学校 第6学年

音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現が書かれた掲示やパンフレットを見て、その語句や表現の意味を推測することができる。

中学校 第1学年

身近な事柄について、絵や図、表などを示せば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。

中学校 第2学年

社会的な話題について、絵や図、表などを示せば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。

本単元

高等学校 第1学年

社会的な話題について、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。

## 資質・能力を身に付けるための言語活動例

【単元ゴールとなる言語活動：『ロボットとの暮らし』について良い点と課題点の両方に触れながら、自分の考えを伝える】

【目的】自分の意見や考えを仲間に伝えるために、【場面】「ロボットとの暮らし」について書かれたものを読んで、【状況】文章の要点を捉える

●英字新聞の記事の見出しや写真から推測した上で実際にその内容を読み取る活動。

・見出しや写真を活かして複数の情報の中から必要な情報や要点を捉える力。

①～④ 言語習得のプロセス ③④ 見方・考え方を働かせる子供の姿

・単元ゴールの内容やパフォーマンステストについて確認したあと、新聞記事からどんな演奏なのか写真と見出しから予想し、内容を伝え合う。①②

T : Can we guess the article from the title or picture? What do you imagine from them?

S1: I think...scary! AIに支配される! And technology? Robots? Robots are playing the taiko drums.

S2: These robots are cute. Maybe technology helps our traditions. Technology means robots.

・予想が合っているか本文を読んで内容を確認する。重要だと思う文にマーカーを引く。③④⑤

T : Where did you highlight and why did you choose it?

S2: I highlighted "Feel the traditional rhythms created by technology" because traditions are disappearing. Maybe technology can stop that.

S3: Yes, I highlighted there too. Also I highlighted the heading. I think when technology meets tradition, we can see the solution. It helps us.

・記事にサブタイトルを付け、その理由について複数のペアで伝え合う。③④⑤

S1: My title is "Robots help our tradition!" It's because we don't play taiko very often. Robots help our tradition. Maybe they play it very well.

・伝え合ったことを踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。④

#### 言語習得のプロセス

①子供がコミュニケーションの目的・場面・状況を把握する。

②目的に応じたコミュニケーションの見通しを立てる。

③目的達成のためのコミュニケーションを行う。

④言語面・内容面で自らの学習のまとめを行う。

#### 見方・考え方を働かせる子供の姿

③筆者が最も伝えたいことは何かを考えながら読み、複数の情報にマーカーを引いて比較することで要点を見つけている姿。

⑤要点を捉えるために、相違点や共通点に着目し、そこにタイトルなどを付けている。

#### 見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

③記事や本文の内容を理解するには本文以外の情報も役に立つことに改めて気付かせると共に、重要だと思う文にマーカーを引きそれぞれの情報を整理することで要点が見えてくることに気付かせる。

⑤複数の意見文を読む時はキーワードを取り出し、比較して読むと要点が分かりやすいことに気付かせる。

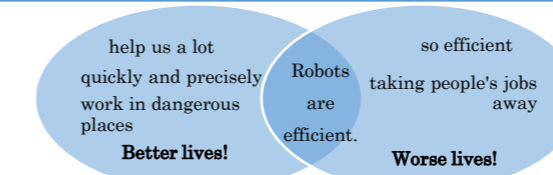
●『ロボットとの暮らし』について互いの考えを伝え合うために、教科書を読み、各登場人物が最も伝えたいことを捉える活動。

・思考ツールを用いて複数の情報を整理し、整理した情報にタイトルを付けることで文章の要点を捉える力。

③④ 見方・考え方を鍛える教師の手立て

・登場人物それぞれの意見を読み、共通点と相違点をベン図で整理する。その後、要点を捉えるためそれぞれの意見に簡単な見出しを付ける。①②③

S1:先生、二人の意見長いけど、どうやったら読みやすくなる?  
T :Do you have any ideas, everyone?  
S2:How about ベン図? We can see the differences between them.



・ベン図を基に本文内容と、その内容に対する自分の考えなどを複数のペアで伝え合う。③④⑤

S1: I agree with Misa. Robots make our lives better. They can work quickly and precisely. They are efficient!

・中間指導を基に再度伝え合う。③④⑤

T : Ken says "robots are efficient, too." What's the difference between them?

S2: Both of them think robots are efficient. But Ken thinks they are so good that they're taking our jobs away.

・伝え合ったことを踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。④

S1:Robots make better lives for us! They can work quickly and precisely. I think so, too. They're taking our jobs away but those jobs are not important.

●『ロボットとの暮らし』について互いの考えを伝え合うために、意見文を読み要点を捉える活動。

・今までに身に付いた読むことの見方・考え方を働かせて複数の情報の中から文章の要点を捉える力。

・ALTの意見文を読み、要点を捉えるために段落ごとにタイトルを付けたり、段落と段落のキーワードを比較したりする。①②

T : Her title is "The Latest Works of the Dead Artists. Van Gogh and Pablo Picasso can draw your face."  
S2: Really? They are dead. What does this mean?  
S1: マーカー引こうかな、キーワード選ぼうかな。

・捉えた要点(ALTが一番伝えたいこと)に対する自分の考え等を、文を引用しながら複数のペアで伝え合う。③④

S1: I don't agree with Kate sensei. She says "Great artists are dead." But I want Van Gogh to draw my face. AI is great.  
S2: I don't think it's a Van Gogh's work. It's fake.

・中間指導を基に再度伝え合う。③④

T : S2, why do you think it's a fake?  
S2: Kate sensei says "To let AI have understanding artist's features takes time a lot and costs a lot. Great artists are dead." I agree with her opinion. Dead artists can't make new works.

・伝え合ったことを踏まえ、自分の考えを再構築し、その内容を書く。④

S1: I don't agree with Kate sensei. She says "Great artists are dead." But thanks to AI, we can enjoy their new works today. I know it's not real but I want to see them.

三つの柱の資質・能力

**学びに向かう力、人間性等**  
 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。

**知識及び技能**  
 工 文、文構造及び文法事項  
 (ウ) a 関係代名詞の主格 who の制限的用法について理解すること。  
 (ウ) b このような言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。

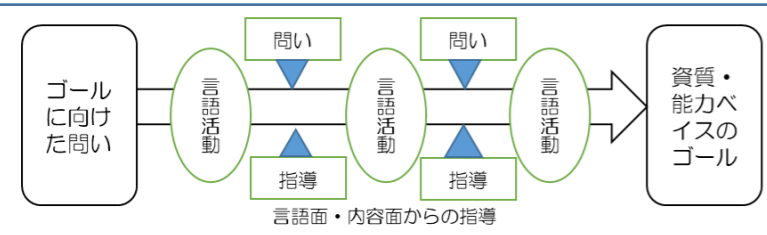
**思考力、判断力、表現力等**  
 イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

**「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標**  
 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

**「単元の目標」**  
 よりよい世界の実現に向けた自分の考えを発信するために、平和について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用するなどして、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

**《既習事項との関連》**  
 ◇2年生：よりよい学校にするための校則の在り方について意見を書く活動。  
 ◇3年生：ロボットとの共存について意見を書く活動。

**《他教科等との関連》**  
 【国語】第3学年  
 情報を編集して文章にまとめる活動を通して、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫する学習活動。



主な資質・能力の系統  
 「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

小学校 第5学年  
 自分のことや身近で簡単な事柄について、語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き出すことができる。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

【単元ゴールとなる言語活動：世界平和についての記事を読み、よりよい世界の実現に向け、自分の考えや理由などを書く】  
 【目的】よりよい世界の実現に向けた自分の考えやその理由などを伝えるために、【場面】SNS上に【状況】世界の人々に向けて投稿する文を書く

- 世界における紛争地域の子供の現状に関する記事を読み、意見文を書く活動。
  - 世界平和のために尽力した人物に関するエピソードを読み、意見文を書く活動。
  - 現在、平和のために世界で活躍している人物に関するエピソードを読み、意見文を書く活動。
- ・読んだことについて、引用しながら自分の考えや感じたことを書く力。
- ・読んだことについて、引用しながら自分の考えやその理由を書く力。
- ・読んだことについて、引用しながら自分の考えやその理由を、文章構成を考えながら書く力。

①～④ 言語習得のプロセス    ①⑤ 見方・考え方を働かせる子供の姿    ②⑥ 見方・考え方を鍛える教師の手立て

・単元ゴールと本時の言語活動におけるコミュニケーションの目的・場面・状況等を知る。① ②

〔S1〕  
 世界中の人々に向け、自分の思いを分かりやすく伝えるためには、どのような内容や表現で伝えたいかな？

・記事を読んだ後、ペアで分かったことや自分の考えを伝え合ったり、分からないところやさらに知りたいことなどを質問したりする。③

・話した内容や気づきなどを全体で共有する。(中間指導) ④

T : What information did you get?  
 S1 : There are many poor children around the world. I feel sad.  
 S2 : I was surprised. The article says, the children in those countries can't go to school.  
 S3 : says は、記事の内容をそのまま伝える時に使えるんだな。  
 T : ~says 以外で引用の表現はありませんか。  
 S1 : according to が使えると思います。  
 T : According to the article ですね。Good!

・投稿文を書く。③ ④

〔S1〕  
 According to the article, there are many poor children around the world. I feel sad. We can go to schools in Japan, but some of them can't. It's not equal.

・本時で学んだこと、気付いたことなどを振り返り、次時で頑張りたいこと等を明らかにする。④

言語習得のプロセス  
 ① 子供がコミュニケーションの目的・場面・状況を把握する。

見方・考え方を働かせる子供の姿

- ① 読み手の年齢や性別をイメージして、内容を考えている姿。
- ② 分かりやすく伝えるために引用したり、構成を工夫したりしながら表現している姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- ① 読み手のターゲットを絞らせる。
- ② 記事を基に、伝えたい内容や構成を考えさせる。

・マザーテレサについての記事を読み、自分の考えやその理由などを伝え合った後、投稿文を書く。① ② ③ ④

〔S1〕  
 Mother Teresa was the greatest woman in the world. According to the article, she helped many poor and sick people. I respect her.

・投稿文をグループで読み合った後、気付いたことやさらによくするために取り入れたいこと等を全体で共有する。(中間指導) ④

T : Who is your message to?  
 S1 : Junior high school students around the world!  
 T : その人たちにメッセージを届けるために、どのような工夫ができますか。  
 S2 : 始めに、Hello, JHS students! と呼びかける！  
 S3 : 主語を I ではなくて、we にした文を入れると自分事として読んでくれるかもしれません。  
 T : Good ideas!

**【板書（抜粋）】**

〈メッセージ内容〉

- ・気持ちとその理由 → I'm surprised ~.
- ・Hello/Hi ( ) → Why don't we + 動詞の原形？
- ・we を使った文 → We can / should + 動詞の原形

・投稿文を加筆・修正する。③ ④ ⑥

〔S1〕  
 Hi, JHS students! Do you know Mother Teresa? She was the greatest woman in the world. According to the article, she helped many poor and sick people. I want to be a kind person because I'm impressed by her kindness. We teenagers have a bright future. Why don't we support them together?

・本時で学んだこと、気付いたことなどを振り返り、次時で頑張りたいこと等を明らかにする。④

② 目的に応じたコミュニケーションの見通しを立てる。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- ① 読み手のターゲットを絞らせる。
- ② 記事を基に、伝えたい内容や構成を考えさせる。

・マララ・ユスフザイさんについての記事を読み、よりよい世界の実現に向けた自分の考えやその理由などを書く。① ② ③ ④

〔S1〕  
 Malala fought for peace without fear. According to the Kochi Weekly Times, she got a Nobel Prize in 2014. She's brave. I can't do that. But we can do other actions for peace.

・投稿文を読み合った後、よりよい世界に向けた思いを伝えられているかの視点で意見交流する。

・全体で、互いの気づき等を共有する。(中間指導) ⑥

内容面の指導後  
 T : 読む人に自分の思いが伝わるようにするために、内容面以外で気を付けることはありますか。  
 S2 : 記事で印象に残った内容を、始めの方でシェアすると共感して読んでくれるかもしれません。  
 S3 : 導入で投げかけの文を入れて、まとめて自分達ができることを呼びかけてみるといういいかもしれません。

・投稿文を見直し、清書する。③ ④ ⑥

〔S1〕  
 Hello, JHS students! Do you know about the people who fought for peace? According to the Kochi Weekly Times, Malala made a speech at the United Nations. I was impressed by her words, "One child, one teacher, one book and one pen can change the world." Why don't we share our own messages? Words have energy and power. Teenagers have more energy to do actions for peace, too. Let's start to work for a bright future!

・本単元を振り返り、成果と課題をまとめる。④

③ 目的達成のためのコミュニケーションを行う。

④ 言語面・内容面で自らの学習のまとめを行う。

小学校 第6学年  
 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、その中の一文あるいは一部の語を自分が表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。

中学校 第1学年  
 身近な事柄に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

中学校 第2学年  
 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、メモなどを基に整理し、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

高等学校 第1学年  
 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

本単元